

青 農 園 号 外
令和 7 年 2 月 6 日

報道機関各位

青森県農林水産部農産園芸課長
(公 印 省 略)

耕畜連携による地域資源の活用促進・交流セミナーについて

県では、地域資源である「稲わら」や「堆肥」の有効利用を一層促進するため、標記セミナーを下記のとおり開催しますので、取材して下さるようお願いいたします。

記

1 日時及び場所

- (1) 日時：令和 7 年 2 月 13 日 (木) 13:00～15:00 (受付 12:30～)
- (2) 場所：青森原燃テクノロジーセンター 1-1～3 研修室
(〒039-2664 青森県上北郡東北町字乙供 58 番地)

2 開催要領

別添のとおり

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農林水産部農産園芸課環境農業グループ GM 佐々木 和也
電話番号	直通 017-734-9353 内線 5084
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊 (内線：4967)

耕畜連携による地域資源の活用促進・交流セミナー 開催要領

1 趣旨

飼料や化学肥料の価格が高止まりしている中、地域資源である「稲わら」や「堆肥」の有効利用を一層促進するため、関係者間で取組事例等を共有するとともに、交流を深め、連携を強化することを目的に開催する。

2 日時及び場所

- (1) 日時：令和7年2月13日（木）13:00～15:00（受付12:30～）
- (2) 場所：青森原燃テクノロジーセンター 1-1～3研修室
（〒039-2664 青森県上北郡東北町字乙供58番地）

3 主催

県農産園芸課

4 内容（仮題）

- (1) 稲わらサイレージの黒毛和種肥育牛への給与技術（秋田県畜産試験場）
講師：秋田県畜産試験場 飼料・家畜研究部 主任研究員 高橋利清 氏
＜休憩10分＞
- (2) 稲わらの収集面積拡大に向けた「稲わらサイレージ」の取組（農産園芸課）
- (3) 稲わらサイレージの試し給与の状況（株式会社ロイヤルファーム、雪印種苗株式会社）
- (4) 稲わらの有効活用に向けたメーカー各社の取組
- (5) 化学肥料低減につながるペレット堆肥等の有効性実証事例（地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所）

※1-2～3研修室において、「稲わらサイレージ（見本）の展示」のほか、メーカー各社によるカタログ展示・相談を行うコーナーなどを設置しますので、研修会の開始前後や休憩時に御覧ください。

5 参集範囲

耕種・畜産農家、稲わら収集業者、農業協同組合、畜産農業協同組合、一般社団法人青森県畜産協会、市町村、地方独立行政法人青森県産業技術センター（野菜研究所、畜産研究所）、県（農林水産政策課、畜産課、地域県民局地域農林水産部）